

Hayashi Takeshi and the Drawing

林武（1896 - 1975）は大正後期から昭和期に活躍し、洋画界に大きな足跡を残した画家のひとりです。林が本格的に絵画の道に進んだのは遅く、また油彩の習得はほぼ独学でしたが、1921年、25歳で第8回二科展に初入選し、^{ちよぎゆう} 梶牛賞を受賞しました。さらに翌年には同展の最高賞である二科賞を受賞、画壇で注目される存在となります。1926年には新しい絵画制作を目指す若手画家たちのグループ、1930年協会に参加。4年後に同会は独立美術協会へと発展的解消を経ますが、林は創立会員として独立美術協会に参加します。以後、同会を中心に精力的に作品を発表し続けるとともに、真摯に独自の画法を追究してゆきました。戦後には東京藝術大学で後進の指導にもあたり、1967年に文化勲章を受章しています。

本展ではコンテや鉛筆、パステルで制作された素描作品を中心に、林武の線の魅力を紹介します。素描家としても高く評価された林は、線描による様々な表現を試みました。そのなかから、自由かつのびのびとした線で運動の最中にある人物や波立つ海を捉えた作品、女性の身体の曲線が印象的な裸婦像などを展覧します。こうした作品を通して林武の線が語る世界をお楽しみください。



Hayashi Takeshi (image)

林武は東京で、三代続く国学者の家系に生まれました。本名武臣。造形性に富む女性像をはじめ、富士山や舞妓といった日本的題材を描いた油彩画で知られていますが、批評家の嘉門安雄は、林の素描作品も高く評価しています。

近隣施設のご案内

2館
同時開催

●蘭島閣美術館・三之瀬御本陣芸術文化館

特別展「猫のダヤン 40周年記念 ダヤンの不思議な旅 池田あきこ原画展」

会期：5月23日〔土〕～9月7日〔月〕

●松濤園

朝鮮通信使資料館 所蔵品展「朝鮮通信使はじまりの物語」 会期：開催中～6月22日〔月〕

陶磁器館 所蔵品展「やきものの中の動物たち」 会期：開催中～6月22日〔月〕



上：蘭島閣美術館別館
下：別館からの眺望



交通案内

■自動車の場合

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡った最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場から徒歩で蘭島閣美術館（260m）→階段を使って白雪楼→蘭島閣美術館別館の順にお進みください。

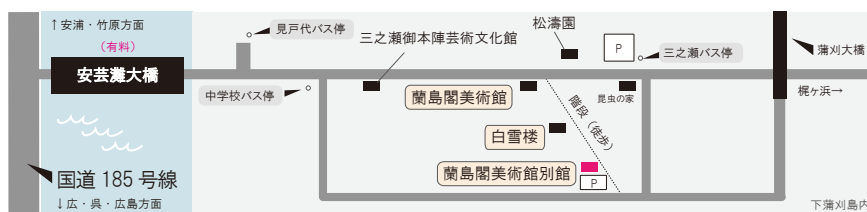
指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈。詳しくは、呉市観光案内所（TEL 0823-23-7845）まで。

■電車・バス利用の場合

JR 呉線「広駅」を下車。広駅前の道路を渡ったところにある「広駅前」バス停から瀬戸内産交運行の「営農センター・沖友天満宮方面」行きバスに乗りし「三之瀬」バス停で下車。バス停から蘭島閣美術館別館まで徒歩。

〔バスに関するお問合せ〕

瀬戸内産交（株） TEL 0823-70-7051



アクセス方法



バス時刻表

